



かけはし

岩国市立錦中学校だより 第14号

令和5年(2023年)11月9日(木)

<https://www.edu.city.iwakuni.yamaguchi.jp/site/nishiki-j/>



みんなが繋がる 地域と繋がる すてきな文化祭

10月28日(土)、令和5年度第49回文化祭を開催しました。

昨年の文化祭は新型コロナウイルス感染症の影響で、地域の皆様にご観覧いただけなかったのですが、今年は多くのお客様をお招きして開催することができ、大変うれしく思います。お陰で「心温まるすてきな文化祭」となりました。

錦中学校の文化祭は錦体祭と同様に「一生懸命」を大切にしてきました。文化祭に向けての日々の活動にまじめに取り組む錦中生の姿から「気概」「心意気」が感じられました。

今年の文化祭テーマは「繋げ～みんなで創る努力の星座～」でした。当初、私はこのテーマを聞いて、「錦中生の繋がりを深める」と捉えていました。

しかし、錦中生の取組・本番の様子を見ていくうちに、私の考えは浅はかであったと恥ずかしくなりました。

1年生は「自分たちがふるさとのことをもっと知りたい。そして、みんなにふるさとのすばらしさを伝えたい」という思いから「ふるさとPR動画」の制作に取り組みました。制作にあたっては、錦地域おこし協力隊の佐々木さん、寂地峡観光協会会長の岡崎さん、SOZU温泉の三浦さん、錦川鉄道の杉原さんのご協力を得ながら、すてきな「ふるさとPR動画」を完成させました。すばらしいコンビネーションで発表を行いました。完成した「ふるさとPR動画」はこれから錦町のPRのために、各団体等と協議を進めて、有効的に活用していきます。

2年生は、錦町の事業所で行った「職場体験学習」の発表を行いました。各事業所において、様々な体験をさせていただいたことで、仕事のやりがいや苦勞など身をもって感じる事ができ、自分の将来の生き方について真剣に考えるきっかけになりました。会場の人たちを巻き込んでの発表は盛り上がりました。

3年生は、劇「天邪鬼」を披露しました。一人ひとりが個性豊かな役を演じ切り、観客を魅了しました。セリフが長く、大変だったことが想像できますが、クラス全員で創りあげた見事な劇でした。後輩たちは「3年生になったらクラスで劇をやるんだ」という思いになったと思います。



吹奏楽部の演奏もすてきてでした。錦中学校吹奏楽部は山口県内で一番人数の少ない吹奏楽部ですが、一人が複数の楽器を演奏するなど工夫しながら一生懸命取り組んでいます。1・2年生だけの部のため、来年の文化祭が今から楽しみです。

全校合唱の「足跡」「SMILE」は、練習を重ねるたびにすてきなハーモニーになってきました。このメンバーで歌う最後の合唱という気持ちを感じることができました。

そして、最後によさこい「好きです!錦町」を全員で踊りました。指導してくださった「錦よさこい連螢」のメンバーさんたちも応援に駆けつけてくださいました。保護者や小学生も踊りに加わりました。そして、観ている人たちの顔は「笑顔」でした。地域と繋がることができた踊りとなり、「ジーン」としてしまいました。



「人は手を繋ぎ、そして、個性や縁を紡ぎ、やがて絆が生まれる」

錦中学校文化祭は、現在の教育や社会が抱える課題に対する解決策を具現化したものとなりました。「中学生から大人への提言」をありがとうございました。君たちは必ず「すてきな大人」へ成長すると確信しました。やればできる!君たちならできる!

「地域の力に！」 錦中生大活躍です

11月1日(水)、『「でかまるくんの看板」お披露目会』に錦中学校総合文化部(制作)の4名が参列しました。美川地域おこし協力隊の寺本さんから総合文化部(制作)に「でかまるくんの看板」制作の依頼があり、夏休みから本格的な制作活動に入り、10月下旬に完成したところでした。

当日は多くのマスコミが取材に来られており、4名にとっては貴重な経験となりました。

11月7日付読売新聞において、3年Kさんのコメントが掲載されています。

「錦川の水色に映えるように子どもをカラフルにした。美川町は自然豊かで楽しいところだと知ってほしい。」

錦中生は「地域の力」になるために、自分たちでできることを行っていきます。「地域貢献中学校」をめざします。地域のみなさま、お声かけをよろしく願います。

